

教 科	情 報	科 目	情報 I
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 1 学年		
学習目標	・情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。		
学習方法	〔授業〕 週 2 時間の授業で、教室での座学による授業と、コンピュータを使用した実習を並行して行う。教科書や参考書の内容に沿って学習を進めていく。 〔家庭学習〕 授業で学んだ情報と情報技術を家庭や社会の中で積極的に活用し、情報社会の一員としての能力と態度を身に付ける。 〔補習・その他〕 昼休みや放課後、学校のコンピュータを利用して、タイピング練習や作品制作、調べ学習等をしてよい。		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > (1) 第 1 章 情報社会 (第 5 章 問題解決 の関連する内容を含む。以下同じ) (2) 第 2 章 情報デザイン (3) コンピュータの利用 < 2 学期末考査まで > (4) 第 2 章 情報デザイン (続) (5) 第 3 章 プログラミング (6) コンピュータの利用 < 学年末考査まで > (7) 第 3 章 プログラミング (続) (8) 第 4 章 ネットワークの活用 (9) コンピュータの利用 ○オリエンテーション ○情報社会の成り立ちとそれを支える制度について理解する。 ○コンピュータにより扱われる情報の特性を理解し、コンピュータの構成に触れる。 ○主に Word を使用し、基本的な操作にタイピング練習も交え、文書の作成ができるようにする。 ○目的や状況に応じて受け手にわかりやすく情報を伝える学習活動を行う。 ○Python によるプログラミングを通して、データの処理に親しむ学習活動を行う。 ○主に Excel を使用し、表計算、グラフの作成、印刷ができるようにする。 ○情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する学習活動を行う。 ○情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用する学習活動を行う。 ○主に Powerpoint を使用し、効果的な情報伝達ができるようにする。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人とのかかわりについて理解している。	・事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を快適かつ効果的に用いている。	・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価方法	○定期考査、実技テスト、授業態度、課題・提出物等を 3 つの観点に基づき総合的に判断して評価する。		